

# 特ラ機構レポート No.161

平成 30 年 3 月 1 日

平成 29 年度 第 5 回 理事会 報告 .....	2
最新の運用連絡・調整総件数 .....	10
新規加入会員紹介コーナー .....	13
特ラ機構 第 17 回 技術賞 学生部門 受賞者コメント	
金賞「春みたいだ」 吉武 瞳 .....	15
銀賞「CLOCK」 錦織 舞 .....	16
特ラ機構 第 18 回 技術賞 募集 .....	17
ちょっとブレイク .....	18
イベントの情報 .....	19
無線局免許証票(シール)廃止のお知らせ .....	20
事務局便り .....	21



## [理事会報告] 平成29年度 第5回 理事会

1. 日 時 平成 30 年 2 月 7 日（水） 15 時～ 17 時
2. 場 所 中野サンプラザ 6 階 フラワールーム
3. 出席者 （会長・理事長・理事・監事総数 22 名）  
出 席 渡邊邦男，上田好生，小野良行，小俣公洋，金光浩昭，北口紀雄，  
小間新五，田中勝久，津田浩之，西澤勝之，橋本喜代志，右田研介，  
矢野 学，吉田廣嗣  
伊藤 博（監事），國枝義久（監事）  
委任出席 八幡泰彦，石橋 透，鈴木久利，則行正信，萩原桂吾，橋本秀幸
4. 平成 29 年度 第 5 回理事会 開催挨拶 （理事長）
5. 議 題  
〔報告事項〕
  - (1) 運用連絡と調整の近況について 別紙資料にて説明（資料：10～13 頁）
    - a. 運用連絡数の推移
    - b. イベント報告
    - c. 干渉報告
  - (2) 特ラ機構レポート  
160 号は 12 月 27 日（水）に発送済。161 号は 3 月 1 日発送予定とした。  
内容は、理事会報告、技術賞受賞者コメントなどを掲載予定。
  - (3) 各委員会報告
    - 1 技術委員会  
平成 30 年 1 月 31 日（水）渡邊理事長、宮前技術委員長、甲田副委員長により、技術委員会運営に関する意見交換を行った。  
議題は昨年 9 月の技術委員会からのテーマで、チャンネルプラン作成ソフトの改善について、チャンネルリスト検索とチャンネルプランを組み合わせるなどの利便性の向上について話し合われた。  
また 1.2GHz 帯 FPU とラジオマイクの離隔距離についてなども討議されたが、今後多様化するシステム間の問題については FPU 懇談会などでも放送事業者をはじめ関係諸団体と合わせて検討すべきとの見解を得た。
    - 2 特ラ機構 技術賞委員会  
昨年 11 月から募集を始め、2 月 6 日までに 2 件の応募があった。  
今後のスケジュールは、3 月末に締め切り、4 月中に選考をすませ、5 月に受賞者に案

内を送付する。そして、6月の総会で表彰式を行う予定となっている。

次号の「特ラ機構レポート 161号」にも応募の案内を掲載するが、募集の締め切りまで、まだ時間もあるので、応募を宜しく願いたい。

### 3 理事候補者推薦委員会

平成30年度、理事・監事改選期を迎えるにあたり、下記の通り「理事候補者推薦委員会」を開催し、各事項について審議し、決定事項を理事会に諮る事にした。

日 時 平成30年1月22日（月）15:00-17:00  
場 所 （一社）特定ラジオマイク運用調整機構 事務局  
出席者 委員長：渡邊邦男  
委 員：鈴木久利、則行正信、木村和子（事務局）

下記の事項を決定した。

- 1 平成30・31年度の理事・監事体制は原則現体制を維持する。
- 2 現理事に追加する形で、新理事を推薦する。
- 3 委員会構成については以下の提案があった。

#### ・周波数移行プロジェクト及びTVWS運用者認定制度検討委員会

周波数移行対策プロジェクトはその任務を遂行し現在は休眠状態。一方、TVWS運用者認定制度検討委員会は未だ活動を開始していない。ほぼ同じメンバーからなるこの二つの委員会を「TVWS運用者認定制度（仮称）検討委員会」にまとめ、移行終了後を見据えて、特定ラジオマイク運用に関する事項で、当機構および会員に必要な課題を検討し、セミナーや講座を立案・実行する委員会とする在り方が望ましいとの提議があり、賛同を得た。

当該委員会の主目的として、出来れば年間2～4回の特ラ機構主催の講座を開催し、電波や無線規則も含む運用に必要な知識と技術を保有するラジオマイク運用者として認定し、修了者に修了認定証を交付する。この活動を発展的に継続することで、ラジオマイク運用の認定制度がある事を周知していく。

委員長には当初からの委員長である日本大学 八木信忠名誉教授に担っていただき、プロセスの報告と新委員会への改めでの委員長就任を依頼する。

### 4 編集委員会

1月26日（金）、第65回編集委員会を当機構事務局で開催した。

出席者は7名。160号を振り返って反省点等を確認した他、161号への掲載記事の検討、記事作成の分担を行った。

(4) FPU・ラジオマイク運用連絡懇談会

3月中旬以降にTVホワイトスペース運用調整連絡協議会（電技協と特ラ機構の共催）で開催することを相談している。後日、詳細が決まり次第連絡することになるが、「1.2GHz帯FPUとの干渉等について」を議題にディスカッションを行ないたいと考えている。東京地区のテレビ音声スタッフとの親睦会も計画しているので、理事会メンバーの積極的な参加をお願いしたい。

(5) 総務省関係、ARIB 関連の報告

① 総務省関連

無線局免許証票の廃止について

これまで、特定ラジオマイクの無線局免許を取得すると、免許状と併せて免許証票（約1.5cm四方のシール。免許の有効期間によって6色あり）も交付されていた。この免許証票は「免許を有していること」を明らかにするためのもので、免許状の代わりに送信機へ貼付するものである。

今回、電波法施行規則等の一部が改正され、平成30年3月1日（木）から免許証票が廃止されることとなった。これは、総務省の総合無線局監理システムの充実等を踏まえ、規制緩和の観点も考慮しての改正とのこと。なお、現に送信機へ貼付されている免許証票については、廃止後、そのまま貼り続けていても問題はないとのことだ。

② ARIB 関連

今期の規格会議ではラジオマイクに関係する項目は無かった。

(6) TVWS 等利用システム運用調整協議会

平成30年1月11日（木）特ラ機構事務局にて、（一財）電波技術協会 加藤氏、平嶋氏、廣澤氏と、当機構 渡邊理事長、甲田の5名により、今後のチャンネルリストの在り方および具体的な整備について、意見交換が行われた。

(7) 情報通信月間協議会報告

平成30年度情通月間行事募集の申込期間が、平成30年1月22日（月）から2月28日（水）までとなった。

総務省では、情報通信の普及・振興を図ることを目的に、5月15日（火）から6月15日（金）までの期間を「情報通信月間」とし、この期間中、情報通信に関する各種セミナー・シンポジウム・展示会等、全国各地で多彩な行事が開催される。また、6月1日（金）電波の日には全国各地において記念式典が行われ、東京では中央式典が行われる。

平成30年度は、「ICTでつながるひろがる明るい社会」をテーマに実施する。

なお、近々の情通月間の連絡会議等は以下の通り。

第1回運営連絡会議

平成30年3月7日（水） 15:30 APPLIC 会議室

第2回企画実行委員会

平成 30 年 4 月 20 日（金） 14:00 APPLIC 会議室  
情報通信月間協議会総会

平成 30 年 6 月 1 日（金） 10:00 記念式典会場の会議室

(8) 700MHz 利用推進協会関連

第 25 回定例会は平成 30 年 1 月 23 日（火）当機構事務局にて行われた。

周波数移行の完了時期が見えてきたが、来年度より東京、大阪の一部を除く首都圏、埼玉、神奈川、千葉、名古屋、京都、福岡などが旧周波数帯において共用の地域となるため、共用窓口との運用連絡の情報交換がより大切になることを確認した。

(9) 平成 30 年度の再免許手続き

平成 30 年度の再免許手続（免許更新）の進捗状況について、22 会員から再免許を行うという回答を得ている。内訳については、機構扱いが 19 会員、自社申請 2 会員。これに基づき、機構扱いの会員については総務省総合通信局への再免許申請を完了している（必要書類が未到着の一部会員を除く）。

当初、2・4 帯で再免許対象となっていた無線局免許については大半が廃局され、残りの無線局についても有効期間の平成 30 年 5 月 31 日（木）までには廃局される見通しである。なお、移行機器の納品状況によっては、その一部を再免許する可能性もあるので、関係会員や 700MHz 利用推進協会とも連携をとって対応したい。

(10) 名簿作成（名簿データ確認）について

平成 29 年 11 ～ 12 月に実施した全会員・放送局を対象とした当機構名簿データの確認について、平成 30 年 1 月上旬現在、約 6 ～ 7 割の会員・放送局から返信を得ている。これに基づき、変更箇所があった会員については、名簿データの変更をほぼ完了している。なお、本社住所の変更など、無線局免許状の記載内容も併せて変更する必要がある会員については、追って変更申請等の案内を行う予定である。

(11) ITS 実験（Intelligent Transport System）

トヨタ関係

- ・トヨタ自動車東富士研究所 ITS 実験場：平成 24 年 4 月から現在まで実験局の実験が継続中。（平成 30 年 2 月末日までの実験計画書が提出されている）
- ・豊田市内 2ヶ所（大林町、トヨタ町南）の実験交差点でのモニター実験は平成 29 年 12 月末を以て完了した。

デンソウ関係

- ・現在は実験を行っていない。

※ ITS 実験の中心周波数は 760MHz ± 5MHz となっており、特定ラジオマイクに不具合が発生した場合は実験を休止することになっている。

## (12) 東京オリ・パラ / ラグビーワールドカップ組織委員会

1月17日(水)付け総務省公表の、特定ラジオマイクチャンネルリストに東京都調布市に新設された「武蔵野の森総合スポーツプラザ」が掲載された。引き続き、建築中の新国立競技場をはじめ有明アリーナなど、大会前のプレイベントに間に合うように、施設関係諸団体とも連絡を取りチャンネルリストの整備を進めたい。

## (13) 地上4K・8Kデジタル放送実験試験局運用について

総務省の研究委託を受けたNHKやNHKアイテックなどは、地上波における4K・8K放送に向けた研究開発を進めており、この一環として、東京地区、名古屋地区において実験試験局を開設し、都市部における大規模な野外実証実験を予定している。

名古屋地区での地上デジタルTVホワイトスペース(以下TVWSと表記)帯を使用する実験試験局の運用にあたり、ラジオマイクの運用に影響を受けることが懸念される固定会員については、平成30年1月29日～31日に、特ラ機構とNHKアイテックが共に個別訪問を行い、実験試験局の説明とヒアリング調査が完了している。また、2月中に現地遮蔽損調査を行なう施設の絞り込みとスケジュールも決定している。全国の移動会員については、過去1年間に名古屋地区で運用実績のある会員に対して、平成29年11月にアンケート調査が実施されている。

特ラ機構では、この集計結果などを基に、TVWSのラジオマイク運用に支障をきたすことのない実験試験局の運用が図られるよう、システム構築と広報を行っていく。

また、東京地区における実験試験局の運用についても、名古屋地区と同様に、会員のラジオマイク運用に支障をきたすことのないよう、システム構築と広報を行っていくことを報告する。

## (14) 短信、その他

### ① ホームページの更新状況

会員名簿、最新号の特ラ機構レポートなどの定期更新に加え、「過去の特ラ機構レポート一覧」からのリンクにおいて、特ラ機構になってからのレポートの閲覧に変更していたが、会員・非会員の方から特ラ連時代の記事も読みたいというご要望を頂き、過去のレポートも全て閲覧出来るように再設定した。なお、その際にリンク切れを起こしている箇所や文章の表記が誤っている箇所などの調査を行い、修正を実施した。

## (15) 八幡会長の近況

昨年末、明日に仕事納めを控えた12月27日(水)に事務局全員で八幡会長宅を訪問した。

一年の報告は楽しい話題ばかりではなかったが、八幡会長には終始にこやかに慰労して頂いた。今後も、報告と相談のための訪問を重ねていく。

## 5. [審議事項]

### (1) 会員の入退会 平成 29 年 12 月～平成 30 年 1 月分

#### [入会]

関 東：DCG 合同会社，有限会社ロス・サウンド，株式会社エムスノージャパン，日本郵便株式会社（JP タワー ホール&カンファレンス），株式会社 LDH JAPAN（LDH スタジオ），甲府市（甲府市総合市民会館），株式会社おとこのこ

東 海：ジャパンクリエイティブ株式会社（ラソールガーデン名古屋）

近 畿：株式会社クリエイティブネットワーク，有限会社 LOSwell

#### [退会]

なし

### (2) 会員数

平成 30 年 1 月末現在 1,243 会員

### (3) 無線局数

平成 30 年 1 月末現在 43,855 局

#### 内訳

#### ① 現行・周波数帯

ラジオマイク 109 局

イヤモニ 9 局

合 計 118 局

#### ② 新周波数帯

ラジオマイク 41,226 局

イヤモニ 2,511 局

合 計 43,737 局

#### ③ 総 合 計 43,855 局

### (4) 廃局数

現行周波数帯 21,734 局（平成 26 年 4 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日）

内訳：現行周波数帯（FPU1～4 帯）のみです。

### (5) 賛助会員制度の見直しについて

#### 個人賛助会員（案）

##### ◎個人賛助会員とは

- ・ 特定ラジオマイクのクリアな運用環境の確保や運用技術の向上など、当機構の目的や事業を賛助して頂く個人。

##### ◎個人賛助会員のメリット

- ・ 会員証の交付

- ・機関誌『特ラ機構レポート』の送付（年6回）
- ・希望により当機構機関誌、Web サイト等にて個人名の紹介
- ・セミナー、見学会などへの参加（無料）
- ・講習会への参加（会員割引価格）
- ・当機構が監修する図書の購入（会員割引価格）
- ・「チャンネルリスト検索」「WL チャンネルプラン」の利用（3 口以上の入会金で）

※個人賛助会員のメリットについては、今回の理事会で頂いた意見も含めて事務局で検討したものを、賛助会員制度全体の改定（案）に加え、次回理事会に提案することになった。

◎年会費について

- ・年会費 1 口 3,000 円（1 口以上）

※個人賛助会員は入会金不要。

### 団体賛助会員とその他の協力団体について（案）

メーカーとメーカー外をすみ分けし、メーカーの団体賛助会員には現況通り賛助会員として運用調整に係る費用を負担して頂くが、メーカー以外の協力団体に関しては、協力団体賛助会員として、今まで通り情報交換、相互扶助を通して、更に強い連帯を深めていく。

## (6) 協力団体

「JPPA AWARDS 2018」に対する後援名義使用の謝辞と援助金」

（一社）日本ポストプロダクション協会より、「JPPA AWARDS 2018」後援名義使用の礼状が届き、AWARDS への援助金協力依頼があったため、例年通り 3 口 30,000 円を協力援助負担金とした。

協力団体

- （公社）日本演劇興行協会
- （公社）日本芸能実演家団体協議会
- （一社）日本舞台音響家協会
- （一社）日本ポストプロダクション協会
- （一社）700MHz 利用推進協会
- （一財）電波技術協会
- 日本舞台音響事業協同組合
- （協）日本映画・テレビ録音協会
- TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会

※協力団体の追加等に関しては、随時理事会及び事務局で検討していく

## (7) 理事・監事改選について

報告事項に記した通り、平成 30 年 1 月 22 日（月）に「平成 29 年度第 1 回理事候補者推薦委員会」を開催し、役員改選について討議した。

定款第 29 条（役員の任期）により、平成 30 年度は任期満了で役員改選年度になる。周波

数帯移行最終年度を迎え、完全移行後の体制作りが重要になる時なので、委員会としては、当初より周波数移行を含めた諸事に取り組んできた現理事・監事の再選を推す事を決議した。

また、現理事に加わって頂く形で、新理事の候補者を推薦することも決議し、次回の理事会までにその候補者を選任することとした。

## 次回理事会

日 時 : 平成 30 年 4 月 11 日 (水) 15 : 00 ~ 17 : 00

場 所 : 中野サンプラザ 6F フラワールーム

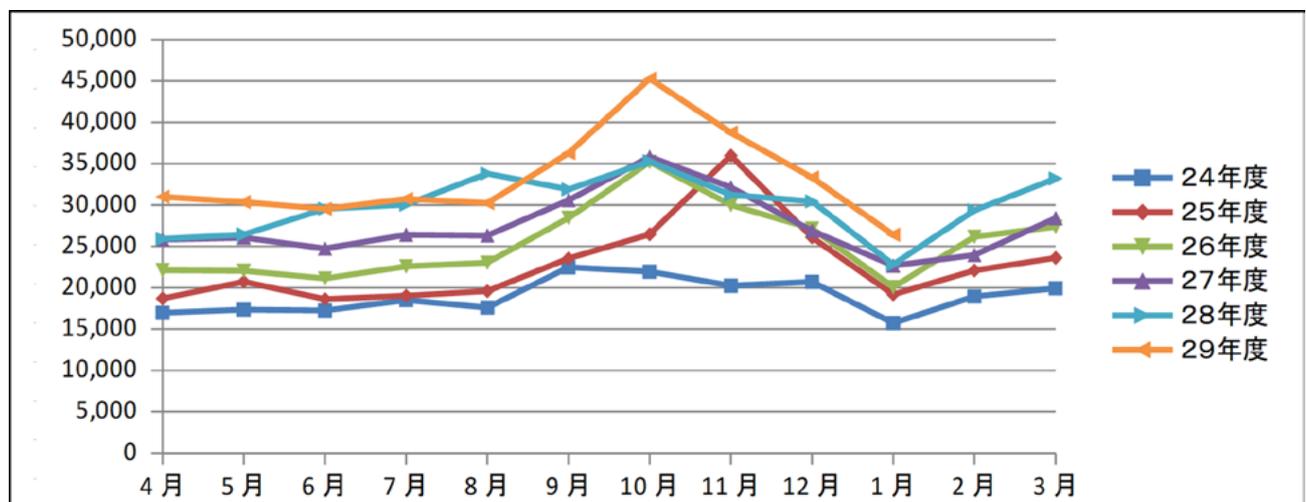
## 最新の運用連絡・調整総件数(現行と新周波数帯)

### 1. 各年度月別運用連絡・調整総件数

2018.2.05 現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
24年度	16,962	17,349	17,241	18,505	17,587	22,472	21,945	20,251	20,702	15,721	18,947	19,929	227,611	18,968
25年度	18,692	20,724	18,619	19,034	19,591	23,545	26,458	35,978	26,087	19,180	22,080	23,610	273,598	22,800
26年度	22,117	22,048	21,117	22,575	23,028	28,445	35,228	30,007	27,148	20,058	26,165	27,365	305,301	25,442
27年度	25,820	26,057	24,741	26,402	26,310	30,586	35,837	32,149	26,878	22,670	23,948	28,412	329,810	27,484
28年度	25,906	26,434	29,533	30,042	33,798	31,895	35,280	31,229	30,446	22,801	29,352	33,214	359,930	29,994
29年度	30,998	30,364	29,530	30,740	30,248	36,274	45,276	38,766	33,329	26,406				33,193

#### 各年度月別運用連絡・調整総件数の推移



### 現行周波数帯の運用連絡・調整総件数

#### 各年度各月別運用連絡・調整総件数

2018.2.05 現在

現行	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
24年度	16,962	17,349	17,241	18,505	17,587	22,472	21,945	20,251	20,702	15,721	18,947	19,929	227,611	18,968
25年度	18,692	20,724	18,619	19,034	19,591	23,545	26,458	35,978	26,087	19,180	22,080	23,610	273,598	22,800
26年度	22,117	22,048	21,117	22,575	23,028	28,445	32,370	27,277	24,323	17,557	23,285	21,999	286,141	23,845
27年度	19,408	19,144	16,944	17,433	16,050	19,315	21,702	19,445	15,748	11,171	10,619	10,320	197,299	16,442
28年度	6,745	5,949	5,169	4,365	4,381	4,249	4,180	3,124	2,708	1,474	2,344	1,697	46,385	3,865
29年度	798	574	476	573	398	487	407	261	251	35				

### 新周波数帯の運用連絡・調整総件数

#### 各年度各月別運用連絡・調整総件数

2018.2.05 現在

新	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
26年度							2,858	2,730	2,825	2,501	2,880	5,366	19,160	3,193
27年度	6,412	6,913	7,797	8,969	10,260	11,271	14,135	12,704	11,130	11,499	13,329	18,092	132,511	11,043
28年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29年度	30,200	29,790	29,054	30,167	29,850	35,787	44,869	38,505	33,078	26,371				

## 当期 (H29 年 12 月～ H30 年 1 月) と前年同期 (H28 年 12 月～ H29 年 1 月) の 運用連絡・調整総件数の比較

### (1) 現行周波数帯と新周波数帯の運用連絡・調整総件数

現行周波数帯では前期に比して 3,896 件の減  
 新周波数帯では前期に比して 10,384 件の増  
 全ての周波数帯域では 6,488 件の増であった。

### (2) 連絡件数と調整総数の比率

前年同期は運用連絡件数の 1.2 倍という調整総数だったが、当期は 1.5 倍であった。

## 今年度の運用連絡・調整総件数

H29 年度 4 月～ 1 月は 前年度 4 月～ 1 月に比して 34,567 件の増であった。

## 2. 特定ラジオマイクが運用された主なイベント (平成 29 年 12 月～平成 30 年 1 月)

イベント名	日程	施設	運用社数	ブース数	マイク・イヤモニ				計
					アナログ 2・4 帯	デジタル 1-4	TVWS 711-714	1.2GHz	
エコプロダクツ 2017・他 ※	12/7 - 12/9	東京ビッグサイト	19	23			48	38	86
大阪モーターショー	12/8 - 12/11	インテックス大阪	6	10			35	2	37
福岡モーターショー	12/15 - 12/18	マリンメッセ福岡	4	8			33		33
SEMICON Japan 2017・他	12/13 - 12/15	東京ビッグサイト	11	12			22	16	38
ジャンプフェスタ ※	12/16 - 12/17	幕張メッセ	14	16			84	29	113
Youtube FUNFESTA	12/16 - 12/17	東京ビッグサイト	1	1			44		44
COUNTDOWN JAPAN17/18	12/28 - 12/31	幕張メッセ	10	15			61	2	63
AKB 握手会・他	1/5 - 1/7	幕張メッセ	2	3			50		50
東京オートサロン ※	1/12 - 1/14	幕張メッセ	22	30			155	31	186
ネプコンジャパン・他	1/17 - 1/19	東京ビッグサイト	14	17			29	12	41
樺坂 46 5th シングル全国握手会	1/19 - 1/20	インテックス大阪	1	1			36		36
ジャパンフィッシングショー	1/19 - 1/21	パシフィコ横浜	7	8			9	43	52
次世代ワールドホビーフェア '18 Winter 名古屋大会	1/19 - 1/21	名古屋ドーム	8	8			30	45	75
札幌モーターショー	1/19 - 1/21	札幌ドーム	5	9			26	2	28
AIG	1/23 - 1/23	幕張メッセ	1	1			30		30
次世代ワールドホビー 東京大会 ※	1/27 - 1/28	幕張メッセ	10	15			46	47	93

運用局数 20 局以上を表記 ※周波数配分イベント 表 1

平成 29 年 12 月～平成 30 年 1 月の 2 ヶ月間に、大都市の主な施設で特定ラジオマイクが運用されたものは 54 催事であった。昨年は、21 催事だったので、この期間の特定ラジオマイクを運用するイベントは増加した。

昨年のイベントと比較しても、エコプロダクツ (2017 年・52 局)、ジャンプフェスタ (2017.105 局)、東京オートサロン (2017 年・156 局)、次世代ワールドホビーフェア名古屋 (2017 年・58 局)、次世代ワールドホビーフェア東京 (2017 年 85 局) となっており、どのイベントもマイクの局数が増加している。

多くのイベントで特定ラジオマイクが欠かせないものになっていることがわかる。

## チャンネルプランの作成と周波数配分を行ったイベント（平成 29 年 12 月～平成 30 年 1 月）

### 1 エコプロダクツ 2017

TVWS 帯 48 局 アナログ、デジタルがほぼ半々に分かれていたのと各ブースの位置が分散されていたので、周波数プランは比較的組みやすかった。

### 2 ジャンプフェスタ

TVWS 帯 84 局 多くのブースを担当された（株）総合舞台さんとの事前の情報交換からアナログプランより検討を行った。デジタルでの運用も多数あったが周波数帯域が分散されていたため広く TVWS のチャンネルを活用することができた。

### 3 東京オートサロン

TVWS 帯 155 局 内デジタル 12 局、アナログ 143 局の大アナログ展示会になったが、車のイベントだけに各ブース間の距離があり 3 次高調波の影響が少なく比較的プランを組むことは難しくなかった。

またイベントホールで開催されたステージを担当された（株）ジェー・エス・エスさんが広い帯域をカバーできる機器を準備されていたのでラジオマイク 16 局、イヤモニ 6 局、計 22 局の多チャンネルであったが展示ホール 1～8 に被らない周波数を選択することができた。

1.2GHz 帯 9 社 31 局 内 4 社 13 局は番組取材などの運用にて東京モーターショーからの話題性の高さを感じた。

### 4 次世代ワールドホビー 東京大会

幕張メッセ展示ホール 9～11 での開催にて、電波伝搬から見ると巨大なひとつの空間で苦労することが多い施設だが TVWS 帯 46 局の内、デジタル 34 局であったことがプランを組む上で大いに助かった。また 1.2GHz 帯も 47 局と 19MHz の帯域幅をフルに活用した。

## 3. 干渉報告

（有）サウンドアクション 現地担当者 指田さんより連絡があり、「12 月 9 日（土）午前 9 時頃 東京ビッグサイトで行われていたエコプロ 2017 での東ホール 5 イベントステージで使用していた TVWS 帯 600.500MHz に他の無線局からの干渉を受けた。」との報告を受けた。7 日、8 日の初日、2 日目には全く問題なく、最終日の朝一番で発生した。干渉は一度限りでその後は問題無く使用したとの事だが展示会など多チャンネルが運用される現場では指定周波数以外の発報には十分に注意し、当機構 事務局への安全確認を行ってから運用頂くようお願いしたい。

## 新規加入会員紹介コーナー

平成 29 年 11 月～ 29 年 12 月

## 関 東

- 株式会社inLYNK 会員番号 030-0871  
代表取締役 山田 洋平 入会：平成 29 年 11 月 9 日 移動 シュア…9 局  
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 1-24-5-4F  
運用担当者 山口 泰史 TEL 03-6455-4415 FAX 03-6455-4416
- 株式会社ジェイ・クルー 会員番号 030-0872  
代表取締役 鈴木 謙友 入会：平成 29 年 11 月 10 日 移動 ソニー…8 局  
〒106-0044 港区東麻布 3-7-3 東麻布久永ビル 1 階  
運用担当者 日高 朋弘 TEL 03-5570-8090 FAX 03-5570-8091
- 株式会社RESON 会員番号 030-0873  
代表取締役 小澤 歩 入会：平成 29 年 11 月 13 日 移動 ソニー…6 局  
〒131-0033 墨田区向島 3-30-7 橘ビル 1F  
運用担当者 田中 嘉人 TEL 03-6658-5933 FAX 03-6658-5934
- 合同会社テクネ 会員番号 030-0874  
代表社員 丸岡 数義 入会：平成 29 年 11 月 13 日 移動 シュア…2 局  
〒223-0061 横浜市港北区日吉 5-31-9  
運用担当者 丸岡 数義 TEL 080-9891-9000 Eメール k.maruoka@tech-ne.jp
- 株式会社 CyberZ (OPENREC STUDIO) 会員番号 030-0875  
代表取締役 山内 隆裕 入会：平成 29 年 11 月 22 日 固定 シュア…16 局  
〒106-0032 港区六本木 1-6-1  
運用担当者 枝 光亮 TEL 03-5459-6276 FAX 03-5428-2318
- DCG 合同会社 会員番号 030-0876  
代表社員 慎 秀範 入会：平成 29 年 12 月 4 日 移動 シュア…4 局  
〒162-0062 新宿区市谷加賀町 2-3-16 ヤマモトビル B1  
運用担当者 慎 秀範 TEL 090-9162-9526 Eメール shinsoobum@dcgllc.tokyo  
【ひとこと】当社は、主にレコーディングスタジオ運営、アーティストマネージメント、ライブ制作をおこなっております。よろしくお願いいたします。
- 有限会社ロス・サウンド 会員番号 030-0877  
代表取締役 佐藤 勝弘 入会：平成 29 年 12 月 7 日 移動 シュア…10 局  
〒336-0024 さいたま市南区根岸 3-21-2  
運用担当者 井上 雅弘 TEL 048-866-3030 FAX048-866-3631

●株式会社エムスノージャパン

会員番号 030-0878

代表取締役 石神 誠久 入会：平成 29 年 12 月 14 日 移動 シュア…2 局  
〒 100-6208 千代田区丸の内 1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス 8 階  
運用担当者 宗形 紗樹 TEL 03-6860-8431 FAX03-6860-8201

【ひとこと】当社は印象評論家／インプレッションマスター® 重太みゆきと VJ / KERUBIEL の所属事務所です。音楽・映像技術を駆使した『インプレッショントレーニング®』を展開。講演を SHOW に！

●日本郵便株式会社（JP タワー ホール&カンファレンス）

会員番号 030-0879

代表取締役 横山 邦男 入会：平成 29 年 12 月 14 日 固定 シュア…14 局  
〒 100-7004 千代田区丸の内 2-7-2 JP タワー・KITTE  
運用担当者 近江 信寿 TEL 080-7718-9660 FAX03-5222-1822

●株式会社 LDH JAPAN（LDH スタジオ）

会員番号 030-0880

代表取締役 森 雅貴 入会：平成 29 年 12 月 20 日 固定 シュア…6 局  
〒 153-0042 目黒区青葉台 2-17-16  
運用担当者 渡邊 宗興 TEL 03-5725-2478 FAX03-5725-2116

## 東 海

---

●ジャパングリエイト株式会社（ラソールガーデン名古屋）

会員番号 060-0129

代表取締役 坂野 嘉彦 入会：平成 29 年 12 月 15 日 固定 オーディオテクニカ…6 局  
〒 450-0003 名古屋市中村区名駅南 2-11-4  
運用担当者 中里 晃久 TEL 052-212-8731 FAX 052-212-8732

## 近 畿

---

●株式会社Quantum Leap

会員番号 070-0281

代表取締役 兒島 壘 入会：平成 29 年 10 月 20 日 移動 シュア…12 局  
〒 530-0014 大阪市北区鶴野町 4-A-113  
運用担当者 横田 和也 TEL 06-6131-9980 FAX 06-6131-9980

●株式会社クリエイティブネットワーク

会員番号 070-0282

代表取締役 玉木 啓之 入会：平成 29 年 12 月 22 日 移動 ソニー…4 局  
〒 556-0017 大阪市浪速区湊町 2-2-10-2706  
運用担当者 玉木 啓之 TEL 06-6634-4321 FAX 06-6634-4320

## 特ラ機構 第17回技術賞

## 学生部門 金賞 受賞者コメント

### タイトル「春みたいだ」

この度は、卒業制作『春みたいだ』におきまして特ラ機構技術賞 学生部門 金賞を頂き、誠にありがとうございました。学生生活の中で、学校の先生方以外のプロの方からご意見を頂く機会がございませんでしたので、当日ご意見を頂けてとても嬉しかったです。

今回の卒業制作は全て好条件の環境下で撮影出来た訳ではなく、ゼネレーターを使用して雨を降らしたり、テストなしの本番一度きりで録音したりと、理想の形で録音できなかつた部分が沢山ありました。しかし、ポストプロダクション時にガンマイクよりもワイヤレスマイクをメインで使用し、別で録音していた環境音と混ぜる事によって、なんとかノイズを落ち着かせる事が出来ました。これも大学三年間で経験、学んだ事が生きた結果だと思えます。

また三年生の実習時には友人、先生方から沢山の意見を頂きながら作品を作り上げたので、卒業制作時には監督以外の方をなるべく頼りにしないように自分の力で仕上げたいというのが卒業制作を手がける際の目標の一つでした。結果的に、その目標を果たして作品を完成させる事が出来、またこうした賞を頂く事が出来て非常に達成感を感じております。

現在、映画や音に関わる仕事はしておりませんが、またいつかこちらの業界でお仕事をさせて頂きたく思っております。繰り返しになりますが、この度は誠にありがとうございました。



日本大学 芸術学部 映画学科録音コース 吉武瞳

## 特ラ機構 第17回技術賞

## 学生部門 銀賞 受賞者コメント

### タイトル 「CLOCK」

この度は、技術賞 学生部門銀賞をいただくことができ大変うれしく思います。

この作品は平成 28 年度の 3 年実習で作ったもので、現場での音声収録から MA までを担当させていただきました。

“可能な限り同時録音の音を使いたい”という思いでこの作品に挑んでいたのですが、台詞とバックノイズのバランスや風による吹かれなど現場での録音には大変苦労しました。

また、初めて並走撮影をしました。

どのようにマイクをセッティングすればいいのか全く分からないところから始まりましたが、ワイヤレスマイクを横向きに付けることでノイズが軽減され、この場面はワイヤレスマイクで収録した音のみで仕上げることができました。

この作品づくりを通して、同時録音の重要性や効果音をなじませるための加工の難しさなど、音について新たに多くのことを知ることができました。

大学生活 4 年間を通して学んできたこと、そして今回の受賞を糧に卒業制作に取り組み、納得のいく作品を作れるように精進したいと思います。

改めまして、この度は誠にありがとうございました。



日本大学芸術学部映画学科 錦織 舞

# 平成30年 第18回 特定ラジオマイク運用調整機構 技術賞 募集中

締め切りが迫りました、平成30年3月31日です。  
ご応募お待ちしております！

## 選定の対象と種類

平成29年1月1日から平成30年3月31日までの、1年3ヶ月間（15ヶ月）における作品で下記に該当すると思われるものをご推薦願います。

なお、この賞は会員全てに応募の権利があり、特定ラジオマイクの本数とは関係ありません。地方色豊かな創作劇などの作品やイベントの記録、放送番組など身近な作品の応募をお待ちしております。

- 1 一般部門 「舞台、イベント」「TV、映画作品」「その他」
- 2 学生部門 「全てのジャンル」

詳しくはお送りしております募集要項または、特ラ機構のホームページか、特ラ機構事務局までお問い合わせください。

<https://www.radiomic.org/> ☎ 03-5273-9806

ちょっとブレイク

田臥勇太選手とリンク栃木ブレックス

特ラ機構職員の坂入です。2016年11月号の特ラ機構レポートのちょっとブレイクを担当させて頂いた際に、2016年から立ち上がった日本の統一プロバスケットボールリーグ「Bリーグ」について書かせて頂きました。今回また出番が回って来て、何を書こうかと思いましたが、まだいくらでもバスケットボールについて語れることがあると思い、今回は別のテーマで書かせて頂きます。

私がBリーグの中で一番好きなチームは「リンク栃木ブレックス」というチームです。Bリーグを知っている方なら誰でも分かるチームなのですが、興味の無い方には「誰がいるチームなの？」と思われる方がほとんどだと思います。チームの核となる選手は田臥勇太選手です。

国民的バスケットボール漫画「スラムダンク」の山王工業のモデル校となった秋田県立能代工業高等学校で高校9冠という偉業達成の中心選手として活躍し、「日本人で唯一NBAのコートに立った選手」として日本バスケットボール界のレジェンドとなっている一人で、「バスケットを知らなくても田臥選手の名前は知っている」くらい知名度のある選手です。

田臥選手の代表的なプレイと言えば、ノールックパス（パスする相手の方向を見ないで出すパス）など派手なプレイがニュースでは取り上げられますが、むしろその真価はラインを出そうなルーズボールにも諦めずに飛び込む泥臭いプレイ、試合が少しでも止まるとチームメイトを集めて細かく動きの確認をするリーダーシップ、散漫な動きをするチームメイトをきちんと叱る毅然とし

た姿勢など、派手なプレイとは真逆の地味で細かい部分を徹底出来る所にあると思います。

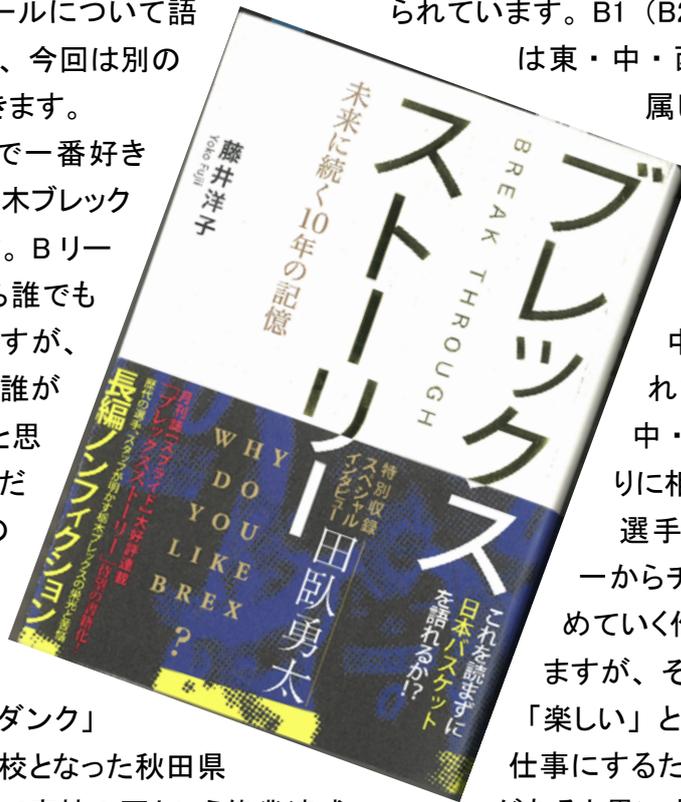
Bリーグ初年度となった2016-17シーズンを見事に優勝という最高の形で締めくくったブレックスですが、その優勝の原動力となったメンバーが多く移籍をした今シーズンはなかなか苦戦を強いられています。B1（B2・B3もあります）リーグは東・中・西地区に6チームずつ所

属していて、ブレックスは全てが強豪チームの東地区に所属していて、この記事を書いている2月中旬時点では6チーム中5位となっています。（それでもブレックスの勝敗は中・西地区では単独2位辺りに相当する成績です。）

選手が多く入れ替わり、また一からチームとしての成熟度を高めていく作業はすごく大変だと思いますが、その過程すらも田臥選手は「楽しい」と表現します。好きなことを仕事にするためには計り知れない苦労があると思いますが、好きだからこそ乗り越えていけることを体現し続ける田臥選手には尊敬の念しかありません。

最近発売された「ブレックスストーリー」（藤井洋子著・下野新聞社）という、ブレックスのチーム創設時からBリーグ初代王者を掴み取るまでの軌跡を綴った長編ノンフィクションを読み、更にブレックスを応援していく気持ちが高まりました。ブレックスファンにはもちろんですが、「常識を打ち破り何かを成し遂げたい方」にも何かヒントになることが書かれていると思いますので、読書がお好きな方にもお薦めの一冊です。

（坂入将太）



## イベントの情報

強い寒気のため日本海側では大雪となり、太平洋側でも南岸低気圧のおかげで降雪情報満載でしたが、3月になれば一段落できるのでしょうか？

今号からマラソン、駅伝の情報はしばらくお休み、イベントの情報のみになります。

各施設イベントカレンダーから拾ってみました。3月中旬～5月中旬までのものです。

まだ寒い日が続くかもしれません、体調にはお気をつけ頂き、いつものように、運用連絡は正確なデータを、早めにお願いたします。

日程	展示会名	会場
3月10日～11日	大阪キャンピングカーショー 2018	インテックス大阪
3月16日～18日	★第33回大阪モーターサイクルショー 2018	インテックス大阪
3月16日～18日	★第18回 JAPAN ドラッグストアショー	幕張メッセ
3月22日～24日	Japan Drone 2018	幕張メッセ
3月22日～25日	★Anime Japan2018	東京ビッグサイト
3月23日～25日	第52回 ジャパンゴルフフェア 2018	パシフィコ横浜
3月24日～26日	★第44回東京モーターサイクルショー	東京ビッグサイト
3月24日～27日	チアリーディング・ダンス全国選手権大会 「USA ナショナルズ イン ジャパン 2018	幕張メッセ イベントホール
4月7日～8日	★マタニティ&ベビーフェスタ 2018	パシフィコ横浜
4月20日～22日	第28回 2018 日本フラワー&ガーデンショー	パシフィコ横浜
4月12日～14日	第21回ファベックス 2018	東京ビッグサイト
4月13日～15日	★2018 国際医用画像総合展	パシフィコ横浜
4月19日～21日	★CPhI Japan2018	東京ビッグサイト
4月19日～21日	★バリアフリー 2018 /慢性期医療 2018 看護未来展 2018 /在宅医療展 2018	インテックス大阪
4月28日～29日	★ニコニコ超会議 2018	幕張メッセ
5月3日～6日	P e t 博 2018 i n 幕張	幕張メッセ
5月9日～11日	★第27回ソフトウェア&アプリ開発展	東京ビッグサイト

★：複数会員社による同時使用実績あり

♪ ルールを守って、クリアな運用 ♪

## 無線局免許証票(シール)が廃止になりました

電波法施行規則等の一部が改正されたことに伴い、平成 30 年 3 月 1 日から免許証票(※)が廃止されました。これは、総務省の総合無線局監理システムの充実等を踏まえ、免許状による無線局管理でも支障がなく、かつ、規制緩和の観点も考慮しての改正とのことです。

これにより、今後は特定ラジオマイクの無線局免許を新たに取得した場合や再免許(免許更新)を行った場合でも、免許証票は交付されませんのでご注意ください。なお、現に特定ラジオマイクの送信機へ貼付されている免許証票につきましては、そのまま貼り続けていても問題はないとのことです。

※特定ラジオマイクなど陸上移動局等の無線局免許を取得すると、免許状と併せて免許証票(約 1.5cm 四方のシール。免許の有効期間によって 6 色あり)が交付されていた。この免許証票は「免許を有していること」を明らかにするためのもので、免許状の代わりに送信機へ貼付していた。

### ●参考 Web サイト

総務省 電波利用ホームページ

「無線局免許証票の廃止等の規制緩和等のお知らせ」

[http://www.tele.soumu.go.jp/j/haishi\\_kanwa/index.htm](http://www.tele.soumu.go.jp/j/haishi_kanwa/index.htm)



無線局免許証票

## 事務局便り

特定ラジオマイクの運用連絡票は

**極力、運用 2 日前（※）までに提出してください！**

運用直前の提出は運用調整のための打ち合わせが出来なくなる恐れがあります。運用場所周辺の他会員様や放送局様へご迷惑がかかってしまうこともありますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※ 特ラ機構事務局が休みとなる、日・祭日を除いた 2 日間です。

**特定ラジオマイクの運用連絡票は  
記入漏れ・誤りのないようお願いします！**

### 注意すべきポイント

- ① 会員番号は正確に
- ② 催事名は必ずご記入下さい
- ③ 現地担当のご連絡先を忘れずに
- ④ TVホワイトスペース帯は  
チャンネルリストに沿った運用チャンネルをご指定下さい  
※アナログとデジタル、使用できるチャンネルの間違いにご注意下さい

### ■平成 29 年度機構関係費用のお振込みをお願いいたします。

平成 29 年度決算期日（平成 30 年 3 月 31 日）が間近になりました。毎年のお願いですが、機構関係費用が未納の会員様はお振込みをお願いします。未納の有無をご確認ください。機構の規約により 2 年以上の滞納金がある会員は、総会の決議により除名になる場合があります。除名の場合、マイクが使用できなくなりますのでご注意ください。

（松崎）

## 編集後記

早いもので、また年度末となり、おだやかな春の訪れを期待したいものです。

年度末といえば確定申告ですが、もうお済ですか。私事ですが、歳のせいか最近医療費が増加しており、今年から始まった医療費控除の明細書を添付して済ませました。

皆様お忙しいでしょうが「健康」は大事です、「ちょっと休憩」で医療費が減るといいですね。そこで、皆様「ちょっとブレイク」の原稿執筆も、宜しく願い致します。

（武藤）